

豊能郡環境施設組合議会報告

組合議員 木戸 俊治

第2回臨時会 開催日 5月27日

最初に議長の選挙が行われ、次とおり選任された。
引き続き、監査委員、公平委員の選任同意案件が上程され
賛成多数で原案通り同意された。

- ・ 議長 原田健志 (能勢町議会)
- ・ 監査委員 木戸俊治 (能勢町議会)
- ・ 公平委員 田口數雄 (豊能町在住)

議案

平成24年度豊能郡環境施設組合一般会計補正予算(報告)

歳入歳出それぞれ16万円を追加し、総額 3億5077万1千円

平成25年度豊能郡環境施設組合一般会計補正予算(原案可決)

歳入歳出それぞれ490万円を追加し、総額 5905万3千円

(安全化対策検討業務 能勢高校農場西池設計委託費)

高山地区に保管されている高濃度汚染ドラム缶の保管期限、豊能郡美化センター跡地に設置された太陽光発電施設の管理状況等の
質疑がありました。

学校教育特別委員会を設置しました

平成28年4月に新学校が開校します。

委員長 美谷 芳昭

能勢町では、平成21年8月に「学校再編に関する答申」を受けて小学校1校、中学校1校で学校再編を行い、平成28年4月1日を目途に府民牧場跡地に新学校が開校する方針が決定しています。

町議会としては、平成21年6月に同委員会を設置し、これまで議論を重ね、建設に必要な予算付けをまいりました。更に、「次代を担う子どもたちが、自立して社会で生き抜く力をつける教育を創造する、魅力ある新学校を平成28年4月に開校」させるために、議会としても引き続き議論することが必要と考え、6月20日に再度「学校教育特別委員会」を設置しました。

議会改革特別委員会を設置しました

開かれた議会をめざします。

委員長 長尾 義和

地方分権の進展により地方公共団体の自己決定、自己責任の範囲が急速に拡大する中で、二元代表制の一翼である議会の担う役割と責任は、ますます重要なものとなっています。

こうした時代の要請にこたえていくため、能勢町議会は、町長及びその他の執行機関と対等な関係を保ち、効率的でわかりやすい議会運営を行い、町民の意思を反映した「開かれた議会」をめざすとともに議会の役目であります監視機能及び立法機能についても十分に発揮していかなければなりません。

これまで積み重ねてきました議会改革の議論・成果を踏まえ、引き続き議会基本条例制定を視野に入れた議会改革が必要と考え、6月20日に「議会改革特別委員会」を設置しました。